

Letters

レターズ / 会員の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

大阪府

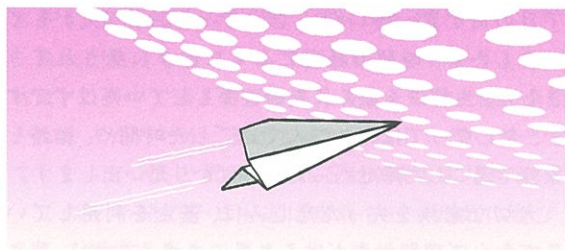
O・Mさん

この度は長女の高校入学に際し、橋本給付金をお送りいただきありがとうございます。

第一志望の高校に合格した娘は、真新しい制服を着て毎日楽しそうに高校へと通っています。実は中学2年の頃、友達とのちょっとしたトラブルがもとで不登校気味になっていた娘ですが、3年ではいい友達や先生方に恵まれ少しずつ学校に通うようになり、その経験を経たうえでの現在ですので、心からほっとしております。

いただいた橋本給付金につきましては、進学にかかる費用に充てさせて頂きました。夫も私も両親を亡くしておりますので、親戚のおばあさんから高校入学をお祝いしていただけたような気分になりとても心が温かくなりました。

あと数年、娘が大人になるまでぜひ見守っててください。本当にありがとうございました。



神奈川県

K・Hさん

思い起こせば、事故から10年が過ぎようとしています。当時、小学2、4、6年と育ちざかりの子どもをどうやって育てていこうか…悩んだことを思い出します。

息子も19歳、21歳となり、娘も17歳となりました。基金のおかげで子ども達全員、お金の悩むことなく好きな事をやらせてあげられました。とても感謝しています。本当に長い間ありがとうございました。

北海道

T・Nさん

夫を亡くしてから13回忌を迎え、5歳だった子どもも高校3年生となりました。来春大学受験を目指し、この夏は猛勉強中(?)です。

私たち親子はこの13年間、他の人があまり体験しない人生を歩んできましたが、ここまで2人で生きて来られたのは周りの方々や支えてくれる皆様のお陰だったと感謝しております。子どもには自分の足で、自分の人生と夢を叶えるため進んでいってほしいと思っています。

東京都

K・Kさん

長期に渡り、私達家族を支援していただき、心から感謝いたしております。

14年前、長女が8歳、長男が5歳の時に交通事故で主人を亡くし、あまりに突然の出来事で茫然自失、その悲しみの中で、私の両親に支えられ、なんとか現在まで過ごして参りました。私の父が交通遺児等育成基金のことを教えてくれました。この基金のおかげで、子ども達にも十分な教育を受けさせることができ、現在、大学生・高校生として元気に学校生活を送っております。

主人を亡くした時は「私は何も悪い事をした覚えがないのに、どうして自分だけがこのような目に遭わなくてはいけないのか」との思いで一杯でした。ですが、そちらの基金だよりが送られてきて、たくさんの方々、私たちのような悲しみをこらえて、前向きに頑張っていってほしいことを知り、私も乗り越えていこうと考えられるようになりました。

いつも温かく支えて下さったこと、本当にありがとうございました。これからも感謝の気持ちを忘れずに、家族みんなで力を合わせて、与えられた命を大事に、精一杯生きていきたいと思っております。

三重県

Y・Aさん Y・Eさん

♡お母さまより

給付金と図書カードを贈って下さいましてありがとうございました。最後の最後まで温かいお気づかいをいただき、心より感謝を申し上げます。ありがたく、大切に使用させていただきます。

息子は大阪の大学に進学し、娘(中2)と犬だけの生活にもようやく慣れてきました。親元へ帰省する度、息子の成長に驚き、嬉しく思うとともに今までの多くの出会いとお力添えのお陰で今があるのだと改めて感謝する毎日です。本当にありがとうございました。

♣息子さんより

一人暮らしになり勉強やサークルなど忙しい毎日ですが、目標に向けて充実した毎日を送らせていただいています。心から感謝いたします。

今まで温かいご支援をいただきありがとうございました。

千葉県

O・Jさん

今年の七夕の時期にも、スーパーや駅などで笹が飾られ、自由に願い事を短冊に書ける企画が色々な場所で見られました

「プリキュアになれますように」「ポケモンの映画がみたい」…かわいい願いがたくさんありほほえましく思う中、私にとっては忘れられない事をまた思い出す機会でもありました。

「かぞくがみんなげんきですごせますように」

一番下の息子が父親を亡くした後すぐに迎えた七夕の時、学校で書いた短冊の願い事です。まだ小学1年生だった息子の願いに、毎日明るく元気に過ごしている中に秘められた悲痛な叫びのようなものを感じました。

でも、この願いに改めて私も元気に生きていこう!!と思ったのも事実です。そして、それを思い出すたびに、ただただ前へ前へと進んでいってくれている3人の子ども達に感謝感謝です。(日々怒ってばかりですが…)

愛知県

S・Eさん

今年の三月、娘が小学校を卒業いたしました。小3で父親を亡くしてから、パパっ子だった娘がどれだけ寂しい思いをしていただろうという思いと、大きく育った娘の姿に、卒業式の間、涙が止まりませんでした。

式後の「卒業の会」で読んでくれた“お父さんお母さんへの手紙”では、いままでありがとう、これからもよろしく、(娘と共通のファンである)嵐のコンサートにいつか連れて行ってあげるね、というメッセージをくれて、夫譲りの優しい子に育ってくれたことが嬉しくてまた涙…

私もそろそろ泣き虫母を卒業して、いつも笑顔の家族でいようと思います。まだしばらくお世話になりますが、よろしく願いいたします。

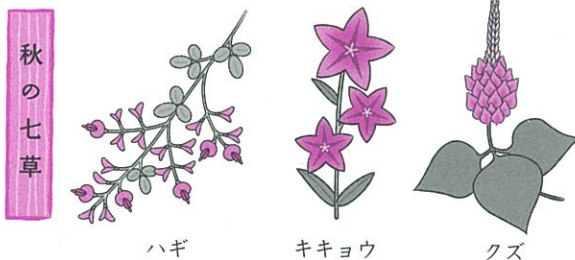
埼玉県

S・Eさん

今年、夫の事故から8年が経ち、息子の基金終了のお知らせをいただきました。当時は夫がいなくなってしまった悲しみと、息子との今後の人生への不安で目の前が真っ暗になってしまったような気がしていましたが、時間の経過とともに徐々に癒されてきました。生前は人並みに夫婦喧嘩もしていたはずですが、今となっては夫と二人で過ごした時間や、結婚し家族で過ごした幸せだったころばかり思い出します。

大切な家族を失った悲しみは、基金を利用している方ならご理解いただけると思います。ですが、残された者が日々穏やかな気持ちで生きていくことが、亡くなった夫も望んでいると思い、息子も私も前を見て行こう!と思っています。

長い間お世話になりました。



秋の七草

ハギ

キキョウ

クズ

静岡県

Y・Tさん

橋本給付金ありがとうございました。大切に使用させていただきます。

上の子は今年中3になりますが、部活のサッカーと勉強と両立して頑張っています。家にいる時間が少ない分、私はとにかく胃袋を満たしてあげingことを一番に考えています。

下の子は少年団でバレーをやっているのですべて土日も全く遊びに行く時間がないです。他のクラブにも所属しているので、かなり頑張っています。私自身も楽しみで週一でやっているので親子で楽しんで幸せを実感します。

二人共中学生になるので、自分の楽しみを増やせていけたらと思います。

宮城県

I・Kさん

この度は橋本給付金と図書カードを頂戴し、ありがとうございました。

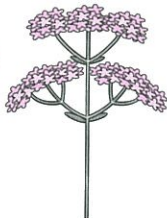
3人の子どものうち、次男が中学校へ、末っ子の娘が小学校へ入学します。進学が重なってしまい、出費も多く、大変ありがたく思っております。

主人が亡くなってから7年、私がしっかりしなければ、と夢中で過ごしてきました。その分、私に余裕がなかったためか、子ども達にさびしい思いをさせてしまっていたと気付かされる出来事もあり反省…

この7年間で子ども達は病気もせず元気に遊び、そして学び成長してきました。皆様からのいろいろなご支援があるからこそ辛い思いをひとりで抱え込まずここまで来れたと思っています。子ども達と過ごす時間を大事にし、過ごしていきたいと思ひます。これからもよろしくお願ひいたします。



フジバカマ



オミナエシ



ススキ



ナadeshiko

栃木県

S・Aさん

今春、長男は大学を卒業し就職し、長女は大学に入学することができ、二人で東京のアパートを借りて一緒に仲良く生活しています。

突然の交通事故で主人が亡くなったのは、子ども達が5歳と1歳の時でした。最初に交通遺児等育成基金に加入する時、私は一瞬戸惑いました。うまい話にだまされているのではないかと思ったからでした。県警に電話して安全性を確認したことを覚えています。

加入してからは、長期的な計画を立てながら家計をやりくりすることができました。友の会の集いは、子ども達が小さい頃は遠方に出掛ける機会がなかったので、本当に嬉しかったです。子ども達が大人になるのはまだまだ時間がかかると思っていたのに、あっという間に18年の歳月が流れてしまいました。

子供の自立は嬉しい反面、少々寂しくもあります。今度は自分が自立できるように励んでいきたいと思っています。今が青春のつもりで、これまでできなかったことを思いきりやっけていきたい今日この頃です。たくさんのご支援をありがとうございました。

【基金事務局より】

10月になり、ぐっと秋めいてきました。加入者、保護者のみなさんはお元気で過ごしてしょうか。

さて、七草粥で有名な「春の七草」は皆さんご存知かと思いますが、「秋の七草」もあるということは知っていましたか？

秋の七草は、萩（ハギ）、桔梗（キキョウ）、葛（クズ）、藤袴（フジバカマ）、女郎花（オミナエシ）、尾花（オバナ／ススキ）、撫子（ナadeshiko）の七種類。お粥に入れて食べることはできませんが、秋を感じられる素朴でかわいい植物ばかりです。春の七草はお腹で楽しみ、秋の七草は目で楽しめるのですね。気になった方は植物図鑑やインターネットで調べてみてくださいね。